

# の 見



愛と復興

# 議会だより

No.130 平成25年2月1日発行



12月会議 2億4千万円追加補正……………	2
委員会活動報告……………	4
シリーズ議会基本条例 最終回……………	7
一般質問(8人の議員が登壇)……………	8
聴かせてくんつえ 議員の突撃インタビュー…	17



小川地区のいきいきサロンの様子

# 4千万円を追加補正



## 町のイメージ回復・定住促進に全力

### ここをチェック!! 12月会議 一般会計補正予算2億4千万円の概要

- |  |           |
|--|-----------|
| 1. 保養センターの改修工事繰出金<br>(水害で被災した保養センターを改修 関連記事P3) | 1億7,275万円 |
| 2. 農林水産業施設災害復旧                                 | 2,557万円   |
| 3. 消防団の作業服更新関係<br>(来年度行われる連合検閲式に合わせ、団員の作業服を更新) | 935万円     |
| 4. 除雪保険事業除雪機整備補助金<br>(除雪保険事業者の自走式除雪機購入補助)      | 600万円     |

只見町議会12月会議は、12月18日から21日までの4日間開催され、主に各会計の補正予算や放射能被害によりイメージが低下した只見町のイメージ回復支援交付金の基金造成、定住促進住宅の設置に関して審議を行いました。



#### 定住等促進住宅を設置

只見地区(新町)に6戸1棟の町営住宅を設置し、定住等の促進を図ります。



#### 福島県ブランド・イメージ回復支援交付金を基金化

福島県より風評被害対策として4,258万9千円が交付され、今後、その事業を計画していきます。

# 12月会議開催 2億

## 保養センターの改修決定!!



新潟・福島豪雨関連で水害にあった保養センターは、只見町観光開発審議会において、今後の活用や改修の内容が審議・答申され、12月会議にその答申を反映した予算が提案されました。各議員からも設計等について提案があり、改修を進める中で検討していくことになりました。賛否が分かれたものの賛成10名、反対1名の賛成多数により原案可決となりました。

### 改修概要

- ・浴槽を従来の1槽から2槽に改修
- ・打たせ湯やサウナを設置
- ・薬湯、超音波風呂を導入
- ・外構を工事し、施設周囲でイベントが開催出来るように改修等

### 議員提案と当局の見解

**問** ボイラーをチップボイラー等に出来ないか？

**答** 故障時の早期対応が困難である。また、灯油の2倍経費が掛かる。

**問** チップ等に加工しなくても良いのでは？

**答** 将来的にはそういった取組みは必要と考える。しかし早期復旧のため、取組む時間がない。

**問** 循環エネルギーを使っていることを発信することも必要だ。内装にこだわった施設

にしないと観光客は来ない。

**答** 今回は、早期の復旧が目的である。今後、経費面等がクリアできる時期が来たらその際に対応するようになりたい。

**問** チップボイラーと灯油ボイラーの金額や問題点の比較表を今後作成し、今後検討されたい。

**答** 他施設の状況を踏まえ、検討していきたい。

この議案ちよつと待った!!

本議案について、反対の意思を示す議員がいたことから反対討論がありましたので、賛成討論と合わせ、その概要をお知らせします。

### 反対討論

**山岸 フミ子議員**  
施設の必要性は理解する。これから様々な検討することだが、経営管理が不透明であることから反対する。

### 賛成討論

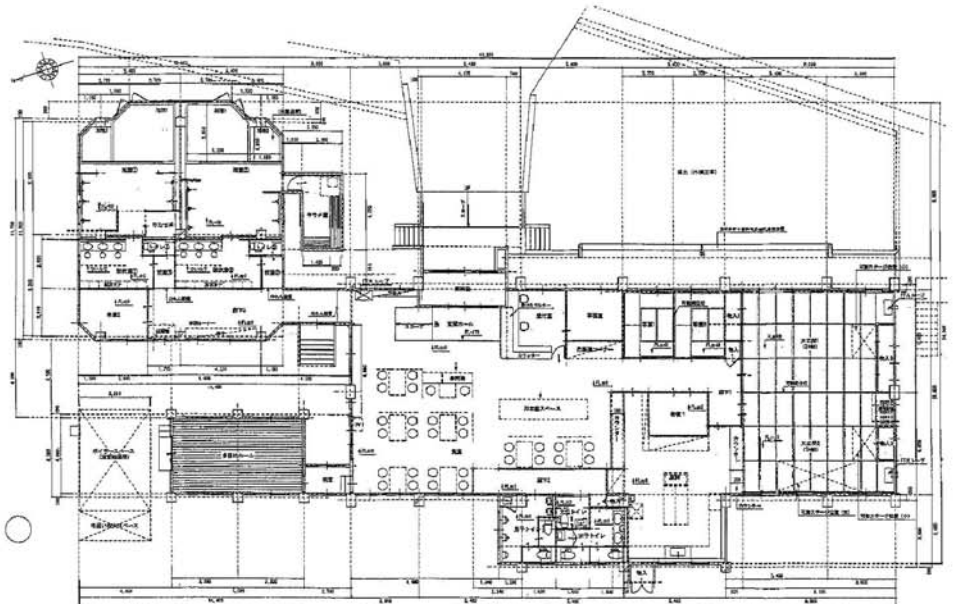
**佐藤 孝義議員**  
住民の方々が楽しみにしている施設であり、早期復旧を望んでいることから賛成する。

採決（議長を除く11名）

反対1名	賛成10名
山岸フミ子議員	酒井右一 議員
	藤田 力 議員
	小沼信孝 議員
	中野大徳 議員
	目黒仁也 議員
	鈴木 征 議員
	新國秀一 議員
	大塚純一郎議員
	石橋明日香議員
	佐藤孝義 議員



今夏に  
リニューアル  
オープン!!



1階 平面図 2:1/120

# 災害対策特別委員会中間活動報告

これまで当委員会は、河川管理者・河川事業者（電源開発株式会社）及び伊南川・只見川流域の集落区長に対し参考人招致し、説明を受けるとともに河川法・災害対策基本法による防災対策の実効性及び機能性について審議してきました。

また、放射能被害については、人体への影響対策や風評被害払拭について審議してきました。

9月定例会議の中間的報告を踏まえ、その後の調査について、次のとおり報告します。

## 豪雨災害の検証と復旧

### 地域の実情はそれぞれ違う

ダム放水に因果関係のない地域が被った災害の検証の結果、未曾有の豪雨による水害ということもあり、集落（地域）や地勢条件によって被害の形態の違いから画一的な行政の災害対応では対処出来ない面もあつたと考えます。

### 集落ごとに協定締結を

災害の種類により避難の形態も異なることから、集落単位の柔軟な防災活動が求められるとともに、町当局と集落の積極的な

防災協定の締結が必要と考えます。

### 防災計画の見直しを

只見町地域防災計画には、災害時の対応項目が列挙されていることから、今後は当該計画の実効性及び機能性の検証が必要と考えます。



被災現場を視察

## 放射能の影響

### 人体への影響を

#### 検査すべき

只見町での甲状腺検査については、実施時期が未定のため、他県から医師を招いてでも実施するよう町当局に求めていきます。

また、学校等で排出効果（リングベクチン等）のあるものを取り入れるべきです。

町当局は不安解消の為に他の基準にとらわれることなく出来ることは独自に、また積極的に実行すべきと考えます。

### より具体的な公表を

#### 町内と町外（特に県外）

ではその産地へのイメージに差があることから具体的な数字を出さなければ風評被害は無くならないと考えます。

町民は「福島第一原子力発電所から150キロ」だが県外の人は「福島県」と受けとめています。この違いを行政は理解し、対策を講じるべきと考えます。

### 早急な土壌検査や測定器購入を

風評被害対策の交付金による物産イベントも大事だが、山の土壌検査の早急な実施や粉碎しない測定器の購入が当面重要と考えます。



粉碎した食品の放射能測定



# 町民からの陳情・請願

## あの陳情の行方と結果

### 仮称「町民文化ホール」の建設に関する陳情採択

本件は、経済文教常任委員会に付託し、委員会内の審議を経て採択となりました。

#### 採択の理由

当町では、収容規模、装置座席、音響面を考慮した多目的機能を備えた十分な施設がありません。

収容人数では学校の体育館町内の施設の中でも充実した施設としては湯ら里を使用している経緯がありますが、今後は、奥会津の中心的位置づけとして、文化活動の継承、広域的な諸行事の受け入れ等が可能な多目的施設整備にも取り組む必要があることから採択としました。



議会は文化ホール建設に賛成です。

### 蒲生区の水路を有蓋化に継続

本件は、議会10月会議で経済文教常任委員会に付託し、審議していきます。

#### 陳情の概要

当区の輪久水路は平成5年に県営圃場整備事業で改良し現在まで利用してきた。

本箇所は毎年定期的な管理作業を実施してきたが、急峻な地形のため、組合員の高齢化も伴って、危険作業であり管理に支障を来す状況である。

現状を調査され水路への有蓋化をお願いしたく組合を代表して陳情する。



蒲生区長から状況説明を受ける。

有蓋化をお願いする箇所は、蒲生地内輪久水路（居平タツプから片淵まで200メートル）

### 次会期も継続して審議

坂田区「官公造林の伐採反対に関する陳情」  
蒲生区「水路改良のお願い」



坂田区での陳情箇所視察の様子



# シリーズ 議会基本条例

## 第4回(最終回)

今回は、シリーズ最終回として、今までお知らせした内容を再度確認いただき、議会をより身近に感じて頂き、今後も議会活動へのご理解をお願いいたします。

### 議会基本条例の 基本理念3本柱

#### 只見町に合った議会を目指す

どこの自治体も同じ状況ではないため、「只見町の实情にあった活動しなければいけない」との考えから議会基本条例を策定しました。

#### 町民と一緒に地域をつくる

議会が町民から期待され、町民の協力を得て、活力ある地域づくりを目的としています。

#### 議会は町民と共に考え共に行動する

町民に情報を提供し意見を頂き、町民と共に町づくりをしています。

### 政策決定の ポイントは事前協議

政策をつくる時に十分な検討が必要であることから、町当局に十分な事前協議とその協議項目を定めています。

事前協議すべき主な項目
必要性(なぜやるのか?)
検討経過(手順を踏んで検討したか?)
他町村との比較(費用は適正か?)
財源処置(国県の支援はあるか?)
今後の費用(将来やっていけるか?)等

### 新しい議会活動

#### 議会報告会

#### 毎年開催する顔の見える議会報告会

議会審議の内容を町民に説明するため、年に1回以上議会報告会を開催することにしています。

今年度は、10月に各地区センターで開催しましたが、反省点も多くあることから今後反省点を整理し、より良いものとしていきます。

～議会報告会実施の町民の感想～

- 議会報告会を実施の際は、多く参加者を募ったほうがいい。
- 膝を交えた意見交換会として実施されたい。
- にらみ合いではなく、笑いのある雰囲気作りが必要だ。等

#### 一般会議

#### 同じ仲間と一緒に議員と意見交換

町民団体やNPO等からの要請を受けて、議会議員と意見交換する場を開催します。

町民団体とは町内の婦人会、青年団体等そのジャンルは問いません。

### 只見町議会は注目されています

今年度視察来庁された議会	
小野町議会	( 5月28日)
会津美里町議会	( 8月 2日)
石川町議会	(11月29日)
磐梯町議会	(11月 6日)
玉川村議会	(11月 9日)

( )内は来庁日  
市町村議会以外の団体・機関からも電話等での問い合わせがあります。

# 一般質問 8人の議員が登壇

- 1 大塚 純一郎 ……9
  - ・目黒吉久町長の2期目の政治姿勢について
- 2 石橋 明日香 ……10
  - ・看護師確保及び町臨時職員についての現状課題とその解決方針について
  - ・町独自の放射能対策について
- 3 小沼 信孝 ……11
  - ・町独自の土壌放射線量調査について
- 4 藤田 力 ……12
  - ・選挙公約の実現について
  - ・役場組織の機構改革について
- 5 新國 秀一 ……13
  - ・被災住民への救済と再生可能エネルギーへの取組みについて
- 6 目黒 仁也 ……14
  - ・観光の復興に思い切った事業展開を
  - ・若者定住対策について
- 7 鈴木 征 ……15
  - ・財政状況等や町長の政治姿勢等を問う
- 8 山岸 フミ子 ……16
  - ・町営住宅の老朽化対策について
  - ・克雪対策事業の充実について

## この町を思い、 町政を問う

※質問した議員順に掲載しております。

一議員1ページの割り当てとっているため、ページの都合上、質問・答弁はその概要を掲載しております。

また、質問を割愛する場合がありますが、議会ホームページにて議事録を公開しておりますので、詳細はそちらでご確認ください。

一般質問者席



## 大塚議員

目黒吉久町長の2期目町政の政治姿勢について、次の項目について、その手法・時期・財源見込み等具体的な構想を示せ。

農林生産物の生産、加工、流通、販売体制確立への一体的取り組みについて。

働き場の確保対策としての企業支援について。

農林業と雄大な自然を基盤にした観光、交流の里づくりについて。

民具収蔵、展示施設の

整備について。

## 町長

担い手育成や農地集積化などで生産活動の再生に努める。また、加工、流通、販売体制は、只見特産株式会社加工技術と設備、山菜加工などの地場産業、歳時記念館などの既存施設の再認識等、既に地域内にある設備、能力、ノウハウ、人材等の潜在力を引き出すなど、有効活用策を検討し、生産活動との連結による一体的な取り組みを図る。



施政方針を述べる目黒町長

要綱に基づく助成及び奨励金交付などの支援策を設けている。

平成26年度只見ユネスコエコパークが正式に登録となれば、世界に町の存在を認めてもらう最大のチャンスだ。只見町への関心が高まれば、町内の観光業、地場産業にとって大きな効果をもたらすと期待している。観光、交流の里に相応しい拠点整備、人材育成等、必要となる取り組み、早急な具体化を図る。

定住人口の維持拡大のためには雇用の場を確保することが重要であり、町内企業への支援策としては中小企業長期振興資金融資利子補給金などの利子補給制度や補助制度を設けている。また、企業誘致は只見町工場育成導入促進

今後の民具収蔵、展示施設の整備は、会津只

見考古館と一体的な活用を検討し、相乗効果を図り有意義な施設整備を進めたい。

## 大塚議員

4・700人台に落ち込んだ人口、41・4%の高齢化率など、少子、過疎、高齢化が進んでどうしようもない只見町の現状で、目黒町長が目指す只見町の5年後、10年後の姿はどのようなものか？「こういう只見町にする。」といった町づく

## 町長

数値目標を掲げることとは難しい。政策として数値目標といった形はとっていない。

人口減少しばらくはやむなしと認識している。人口が減少しても、町としての地域社会経済のシステムが守られる形の在り方をどうやってつづけていくかということが大事だと考えている。

# 目黒吉久町長の2期目の政治姿勢について



## 地域経済社会のシステムが守られる形を考える 目黒町長

おおつか じゅんいちろう  
大塚 純一郎 議員



議場審議

## 町政を問う

内容を要約してお知らせします。

# 看護師確保及び町臨時職員の現状課題とその

## 解決方針について



### 正職員確保しつつも、不足人員等は臨時職員対応

目黒町長

石橋議員

朝日診療所の看護師不足の懸念が現場よりあった。

看護師確保及び町臨時職員についての現状課題とその解決方法を問う。

町内での十分且つ満足される看護師確保と町臨時職員募集による雇用確保全般について方針を問う。

町長

看護師確保等については、安定的な運営は特に重要であると認識している。

看護師は、医師を支える立場であり、今年度



看護師の確保は医療の確保に繋がる

石橋議員

これまで臨時の方は、すぐ辞められてきた。何が問題で辞めていくのか、その認識を問う。

保健福祉課長

出産や家庭の事情ということでの退職という形で認識をしている。

石橋議員

臨時職員も正職員もまったく同じ仕事内容で、責任も同じだ。

正職員試験の年齢制限に問題がある。

長年、臨時として働いていて、只見町に貢献してきた職員が年齢

### 町独自の放射能対策について — 県や町独自の検査等により対応する

石橋議員

放射能汚染の風評被害対策なしに、今後町内での積極的な産業振興・観光誘致は出来ないと考える。

有効な風評被害対策と町民が安心して居住・子育てできるための健康対策について、町長の考えを問う。

町長

風評被害対策は、正しい理解を得る事が重要である。放射線の測定結果をイベント等を通じて安全性を訴えている。

放射能の検査体制は、県の検査の他、町内の検査機械により自家消費農産物などの検査を行っている。

健康対策については、出生以前からの健診助成や子育て相談、医療費の公費負担等の支援を実施している。

石橋議員

チエルノブイリの原発事故を見ると、事故現場から只見町並みに距離が離れていても、内部被ばく等によって健康被害が生じている子供達の事例は多い。今後の対応を問う。

保健福祉課長

空間線量等については、広報で測定した数値を全て発表している。

学校給食・保育所給食は給食センター等で放射線の測定をしている。

内部被ばく検査については、ホールボディカウンターでの検査体制を進めており、平成25年度までに終了したいとの考えがある。

小沼議員

自主検査の結果、野生のキノコから高い放射線量が検出されており、農地だけでなく山や沢といった場所の土壤放射線量調査を行うと考えはないか？

たいと考える。

1つ目は、雪どけ以降に各集落から3ヶ所以上の場所を選択し、土壤、表面の落ち葉、空間線量等を測り、それを公表。また秋にも同じ地点の測定をして採取の参考にする。

町長

現在の制度では、1種類の野生キノコから基準値を超える値が出ると、国の指定した45種類の野生キノコ全てに制限が掛けられ、只見町の被害は計り知れない。そのため町では、3つの事項を重点的に取り組み

2つ目は、自主検査体制の充実のために少量の検体でも測定出来る機器の導入。

3つ目は、出荷制限制度の変更に国に働き掛けていくことである。

小沼議員

1つ目の土壤調査する地点を選定する際に、町内の比較的空間放射線量の値が高い場所を目安に決めていくべきではないか？

産業振興課長

町内各所で実施し、山や沢付近等比較的人が利用される場所を選んでいきたい。

小沼議員

2つ目の測定機器の整備について、現在は検体を粉碎して測定している。

検体を粉碎しないで測れる機器があるとのことなので、そういった機器の導入を検討されたい。

小沼議員

3つ目の野生キノコの出荷制限制度の変更に国に要望していくとのことだが、是非とも魚類の出荷制限基準の変更も要望されたい。

河川が繋がっているからといって、その河川域の全てがダメではなく、下流域・上流域の測定値は基準値を下回っている。

その状況を踏まえて、野生キノコだけでなく魚類も出荷制限基準の変更要望をされたい。

町長

出荷制限制度の在り方について、新年早々に議会と共に各省庁等々へ要望活動をしていきたいと考える。

# 町独自の土壤放射線量調査について



## 町として3つの事項を重点的に取り組む——目黒町長

おぬまのぶたか  
小沼信孝議員



町内産野菜の出荷の様子



米の全袋検査の様子

町政を問う

内容を要約してお知らせします。

# 選挙公約の実現について



藤田 力 議員  
ふじ た ちから

## 意見交換に努めながら 取り組む

目黒 町長

### 役場組織の機構改革について ― 復旧を見据え、体制構築に努める



役場内の勤務状況

作ることは不可能である。行政では中々手を廻せきれないため地域の助け合いのような活動が集落の中で立ちあがった時に、支援していかなければならないと考え

藤田議員

私は終始一貫、「只見町に道の駅」をと主張している。

町長は選挙戦で只見型道の駅という表現をしている。町長の考えている只見型道の駅とはどういう道の駅なのか？

町長

現存している施設を活用するところからスタートしてみたいと考えている。

今、取り組める考え方としては、歳時記念館や湯ら里も視野に入れ考える。

藤田議員

選挙公約の実現方法について、公約した政策の一日も早い実現を町民は当然のことながら待っている。どういった方法で実現するのかを問う。

町長

一つひとつの政策課題について、議会並びに住民の皆さんへの丁寧な説明に心がけるとともに、町の振興に繋がる充実した意見交換が出来るよう努めながら取り組んでいく。

また、只見川流域豪雨災害復興基金や県ブランド・イメージ回復支



役場全景

援交付金などの財源を活用し従来の考え方にとらわれることなく、必要に応じ、思い切った投資をしていきたい。

藤田議員

原発災害から豪雨災害、町の政策も大きく変わらざるを得ない。

振興計画においてもやはり相当大きな変更をしなければならぬと考える。このような状況の中で、私は役場の組織機構を十分に検討・改革し2期目の目黒町政から政策に取り組み考えが必要だと考える。

町長

当町における地域課

題の解決のため、町組織の体制整備は重要なことであると認識している。

昨年、新潟・福島豪雨災害を受け、その復旧に向け北海道及び福岡県の応援をいただきながら取り組んでいる状況にある。一方で、少子高齢化等による地域福祉や産業振興等の課題は依然としてある。こうした課題に取り組み、町の復興に繋げていく人材の確保と組織体制の充実が迫られていると

藤田議員

公約の中で、地域の便利屋活動支援という項目がある。どのような事業で、どのような支援をするのかを問う。

町長

只見町のような広い面積の中で、全ての人達の要望に応じた体制を

## 新国議員

1つ目として、只見川流域豪雨災害復興基金と今後の被災住民への救済対策について当該基金設置までの詳しい経緯と当町への交付額を問う。

また、豪雨災害により被災した町民への今後の支援について町長の考えを問う。

2つ目として、再生可能エネルギーへの町の取り組みについて。

小規模水力・バイオマス発電等、再生可能エネルギーへの取り組みについて町の考えを問う。

## 町長

只見川流域豪雨災害復興基金は、只見川流域町村の早期復興のために県が電力事業者からの拠出によって設置する基金である。

長年、当地域で水力発電事業を行ってきた電力事業者においては、国・県と協力しながら只見川流域の復興を支



研修で視察した小水力発電施設

援することが必要と判断されたもので流域住民の安全・安心の確保が大前提である。

言い換えれば、そのための対策にしっかりと取り組むということである。

その上で、被災者が町内における生活を再建するための支援、産業復興支援及び防災拠点整備等の充実を図るために活用するものである。

尚、基金の配分額等については、今月下旬に開催される只見川流域豪雨災害復興協議会において決定する予定である。

再生可能エネルギー

への町の取り組みについては、町内においては民間団体により小水力発電の実現に向けた検討が行われており、町としても様々な課題があるものの、町民の方々と連携を図りながら小水力発電の導入に向けて具体的な適地の検討等を進め、町内における再生可能エネルギーの導入に取り組んでまいりたいと考えている。

## 新国議員

被災者が町内における生活を再建するための支援、具体的にはどういったことか？

## 総務企画課長

対象事業としては大きく2つある。

豪雨災害からの復興事業。これは主体的には自治体が産業復興支援である。

もう1つは被災住民の生活再建支援。これは、被災者が町内において生活を再建するために、家屋の新築、改築、修繕等の一定の投資を行う支援の場合、補助対象になるという内容である。

## 新国議員

ほとんどの被災者が家を建替えや改築により生活出来るようになってきているわけだが、それについて、補助等により手を差し伸べる考えはあるのか？

## 総務企画課長

時期的にもう修繕や改築が済んでしまったと、これから補助出すのに大丈夫なのかという趣旨のご質問であったとすれば、それは遡及することは差し支えない。

# 被災住民への救済と再生可能エネルギーへの取り組みについて

新国議員 秀一

## 被災者の生活再建を図る

## 小水力発電の適地を検討

目黒町長



災害時の救援物資を配送

## 町政を問う

内容を要約してお知らせします。

# 観光の復興に思い切った事業展開を

目黒 仁也 議員



## 県の交付金事業を平成25年度から具体化する

目黒町長

### 目黒議員

風評被害対策の状況と課題について、9月県議会で決定されたブランド・イメージ回復支援交付金4,250万円の今後の活用計画を問う。

全・安心をPRしていくことと考える。

ブランド・イメージ回復支援交付金は、原発事故により被ったイメージの低下等から回復するための取組みを支援するため市町村に交付される。

### 町長

風評被害対策は、昨年農工商風評被害対策協議会を設立し、食品関連の放射線量測定や公表、イベント等のPR事業を実施してきた。今年度も柏市でアンテナショップの開設や各種検査物の放射線量測定を行っている。課題は、継続して安

### 目黒議員

只見町の観光客は、従来年間約30万人。リーマンショックのあった平成20年は26万人台、大震災後の平成23年度は、15万1,000人と約半減だ。どんな番組でPRしたのか？



多くの観光客誘致を

### 産業振興課長

黒谷川のイワナ、町内観光施設の案内の番組を制作し、定期的に放送している。また、紅葉の只見町を撮影し、その編集作業を行っている。次年度は、晩春から初夏を紹介する番組を予定している。

### 目黒議員

観光復興のため外客を呼び込むための思い切った事業を展開されたい。

平成25年度よりブランド・イメージ交付金事業が具体化になるという理解で良いのか？

### 産業振興課長

平成25年度当初予算に具体的な事業内容の組み立てを行っている最中である。

### 目黒議員

子供の内部被爆検査について、平成25年度終了で検査が進む答弁が別の議員質問であったが、終了後は町独自でも継続するのか？

### 保健福祉課長

県からまだ詳細は示されていないが、子供達については継続して何らかの手立てがあると考えている。

## 若者定住対策について

### ——全国に先駆けたモデル地域にしたい

### 目黒議員

若者定住住宅対策について、新年度以降の考えを問う。住宅対策は、町外子育て世帯層に重点を置いた公募も一つの手法と考える。

### 町長

只見町を全国市町村に先駆けたUターンの農村回帰のモデルの地域にしたい。そういう想いを込めての住宅対策をやっていかねばならない。議員と考え方も方向性も一致している。

## 鈴木議員

1つ目、財政状況及び公共施設の整備計画について、24年度末の公債残高見込みと、起債償還のピークは何年度になるのか？

2つ目、集会所施設の避難所として可能な箇所と、避難不可能な集会所の整備計画は？

3つ目、災害復旧と併せて役場庁舎の建設を進めるべきと考えるが見解は？

4つ目、保養センターの状況をどのように把握し、どのように考えているのか？

## 町長

平成24年度末の公債残高見込みは、全会計において76億円余であり、地方交付税算入を考慮しない金額である。

起債償還は、平成21年度から30年度までの10年間で見た場合、23年度の約11億円が



水害被災現場

ピークになる見通しである。

2つ目の避難所問題については、只見町地域防災計画において、各集落集会所等を地区避難所として設定している。災害は豪雨や土砂災害、震災、雪害、原子力災害等々、種類は様々で全ての災害に對し万全な備えではない。来年度、地域防災計画の見直しを行い、避難所としての指定見直しを行い、現在の集会所は災害の種別等に基づき一次避難所として有効に活用出来る方法を検討する。

3つ目の役場庁舎の

建設については、現在、庁舎基本設計業者の選定に向け作業を行っている。具体的には、全国公募によるプロポーザル方式で進めており、最終審査のプレゼンテ

ーションは住民公開の場で行う。基本設計業者が決定後、議会並びに町民の皆様の意見を反映し進めて行く。

4つ目の保養センターについては、壊滅的な打撃を受け使用不可能な状態にある。観光開発審議会からの答申を踏まえ、基本実施設計を委託実施し、12月議会に工事請負予算を提案した。

新たな特色や独自性が出せるよう観光関係者等からのアイデアを集約し設計内容に盛り込み改修を行う。早期に再開を望む声を踏まえ、事務手続き等を速やかに行い早期に再開出来るよう鋭意努力する。



今後の役場建築構想について公開しています

や住民要望に添って行くにあたって今後の対応を問う。

## 町長

町政執行に当たっては、議会並びに町民の皆様と心を一つにし、手を携え皆の力が発揮できる活力ある町づくりを目指します。その為に、より素直な意見交換が出来る環境を整える。行政執行において人事管理は大変重要な事であり、人材の確保や職員の育成に努め、適材適所の配置や規律保持に十分留意する。

# 財政状況や町長の政治姿勢等を問う



公債残高76億円余り  
活力ある町を目指す

目黒町長

鈴木 議員

征 議員

## 鈴木議員

町長の政治姿勢について、議会と町民とで協力し心一つ手を携えて前進する必要があるのではないかと、今後の人事の在り方

## 町政を問う

内容を要約してお知らせします。

# 町営住宅の老朽化対策について

山岸 ぎし フミ子 議員



## 老朽化が激しい場合、用途廃止も検討

—— 目黒町長



老朽化が懸念される町営住宅

家賃で賃貸し、生活の安定と社会福祉の増進を図ること」に反するのでは？

町長

政策空き家的な形を取るということもあり得る。

町外から来て、若者

が定住するための政策的住宅対策とし、時に行政が取るべき住宅対策と2つに分けて考える。

町営住宅法に基づいた住宅供給の在り方は、今後推移を見ながら検討する。

## 克雪対策事業の充実について

—— 行政がどこまで担うか調査が必要

山岸議員

社会資本総合整備交付金の中には、屋根の修理からペンキ塗装まで含まれている。克雪対策要綱にペンキ塗装を含める考えはあるか？

町長

維持管理まで全てを補助対象にするにはどうかという意見もあり、行政がどこまで取り組むべきか調査が必要である。

環境整備課長

屋根塗装は、維持管理の範囲である。

山岸議員

ペンキ塗装は、問題ありとのことだが、屋根の修理は維持管理の中に入らないのか？

山岸議員

前回は、心に留めておくとのことであったが、留めておくだけではどうにもならない。

環境整備課長

屋根の修理は、雪に強い町づくりによるもので、克雪対策に特化したものになる。

山岸議員

公営住宅長寿命化計画の進捗状況を問う。

町長

入居者に支障がないよう随時修繕をしている。

居住性の向上、管理コストの縮減等を測る目的で各住宅の調査をし、本年度内に策定する。

山岸議員

町長の所信表明で、住宅対策が重要であると明言している。

広田面、礼堂、二軒在家等の住宅は昭和40年代に建設され、耐用

年数が過ぎた住宅が半数である。

今後の住宅建設に関する構想を問う。

環境整備課長

全体的な修繕改革の中で、予防・保全的な計画は3月までに策定する。

住宅108戸の内、特に老朽化が激しいものは、将来的に用途廃止も考えられる。

山岸議員

住宅の押入れ等にはカビの繁殖がひどく、子供の健康被害や生活上での支障があり、大変不便を強いられている。

町長

長寿命化という流れの中で、寿命的に難しいものは取り壊し、全体的な需用と供給のバランスを図っていく。

山岸議員

広田面・二軒在家の町営住宅はどのような状況で、今後どのような計画があるのか？

町長

修理をして、いかに住宅の寿命を延ばすかという段階ではない。入居者の家族形態等、現代生活に合った健康に暮らせる住宅の建設を早急に望む。

山岸議員

二軒在家の住宅について、耐用年数は充分にある。

環境整備課長

広田面の住宅は、空き家が連続した時点で廃止とする場面もある。

山岸議員

修繕費用はどの程度になっているか？

町長

全て町負担で対応している。湿気対策は入居者をお願いしたい。

山岸議員

町営住宅の目的である「住宅に困窮する低所得者に対し、低額な



# 町民の皆さんの意見を 聴かせてくんなつえ

～議員の突撃インタビュー～



町民の方々に町政や議会等に対してどのように考えているのかを議会広報特別委員会の委員が直接お伺いして、様々な想いを聴いてきましたので紹介します。



**横田 雅春さん**  
大倉の区の役員としての活動や地域イベント等の活動に参加され、活躍されています。

## Q. 町議会にどんなことを望みますか??

昨年3月の議員選挙の時に皆さんの意見を聴かせてもらった。

あの時の意見は、実行できるものと期待している。

まだ1年ではなく、もう1年という気持ちで取り組んでいただきたい。

## Q. 今後のまちづくりについてご意見を!

次の世代を担う若い人が安心して暮らせる町であってほしい。

町を離れた人が帰ってきたくなる町になってほしい。

## Q. 初めて開催した議会報告会の感想は?

もう少し簡潔にしたほうがいいんねえがな。

内容が一方通行の感じだ。話し合いが出来る機会がほしいな。そうでねえと関心を持ってもらえないし、行く人が同じ人になってしまう。

## Q. 只見高校の存続についてご意見を!

子も孫も卒業したから関係ねえでなく、町民みんなが無くしちゃなんねえと置いていかねえとダメだ。



**赤塚 亨さん**  
議会中継（一般質問）を欠かすことなく地区センターで見られています。



只見高校生の通学の様子

**議会広報特別委員会より……**  
貴重なご意見ありがとうございます。  
紙面の都合上、全部を掲載させることは出来ませんが一部を掲載させて頂きました。  
ご意見を参考に今後も取り組んでまいります。

## 議会の主な動き

- 11月 6日 災害対策特別委員会
- 11月 8日 ふくしま駅伝激励会
- 11月12日 会津総合開発協議会
- 11月13日 戦没者追悼式
- 11月14日 経済文教常任委員会研修(～16日)
- 11月28日 総務厚生常任委員会研修(～30日)
- 12月13日 議会運営委員会  
議会広報特別委員会
- 12月18日 議会12月会議(～21日)
- 12月19日 全員協議会
- 1月 5日 新年交歓会
- 1月 8日 新年知事懇談会(～9日)
- 1月11日 議会運営委員会  
全員協議会  
議会広報特別委員会
- 1月15日 地元選出国會議員及びJR東日本本社への  
陳情(～16日)
- 1月18日 総務厚生常任委員会
- 1月24日 災害対策特別委員会
- 1月25日 議会1月会議、議会運営委員会、全員協議会  
議会広報特別委員会
- 1月30日 経済文教常任委員会
- 1月31日 総務厚生常任委員会

## JR只見線の復旧を求める

平成25年1月15日から1月16日にかけて、JR只見線の全線開通等を求めるため、地元選出国會議員とJR東日本本社に町長と議會議員全員で陳情してきました。

JR只見線は、当町の観光や通学・通院に必要であることを重点的に説明し、理解を求めました。

今後も関係機関等に陳情を計画しています。



陳情書を手渡す齋藤議長(中央)と目黒町長(右)

<b>議会広報特別委員会</b>	
委員長	山岸 フミ子
副委員長	石橋 明日香
委員	大塚 純一郎
	中野 大徳
	目黒 仁也
	小沼 信孝

新年あけましておめでとうございます。  
 昨年は復興元年として、また様々な選挙があり、激動の一年でした。  
 本年も町の課題は山積しており、7・29新潟・福島豪雨前の只見町に戻るには時間が掛かります。  
 ですが、町当局との連携等により一日も早い復旧・復興に努めてまいります。  
 議会広報特別委員会としては、正確な議会情報をスピーディーに、分かりやすく町民の皆様提供してまいります。  
 本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。  
 (中野)

# 今回の 議会だよりは、 ※なじよだった かない?

## あなたの意見が 議会を変える

議会活動や議会だより等に対してご意見のある方は、電話・手紙・メール(gikai@town.tadami.lg.jp)での受付を行っています。

直接意見を伝えたい場合は、議員と事務局が直接意見をお伺いいたします。

※なじよだったかない?・・・  
 只見町の方言で「どうでしたか?」という意味

お問合せ先: ☎82-5300

## 議会議事録が ホームページで 見れます



パソコンやスマートフォンから只見町議会のホームページに入っていただくと、議会本会議分(平成24年6月第2回会議から)の議事録を見ることが出来ます。

議事録のデータ作成の都合もあるため議会終了後から時間が掛かる場合もありますが、随時更新していますのでご覧ください。

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年は復興元年として、また様々な選挙があり、激動の一年でした。

本年も町の課題は山積しており、7・29新潟・福島豪雨前の只見町に戻るには時間が掛かります。

ですが、町当局との連携等により一日も早い復旧・復興に努めてまいります。

議会広報特別委員会としては、正確な議会情報をスピーディーに、分かりやすく町民の皆様提供してまいります。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(中野)